

10 . 自由意見

問 市民の皆様と行政が心を合わせ、共に元気に満ちた活力ある香取市と発展していくための、今後のまちづくりについて提案してください。

【自由記載意見（切り口別に主な意見を掲載） n = 1,274】

(1) 香取市の強み・魅力・活かすべき地域資源

自然環境

- ・豊かな自然。
- ・水の都、水郷。
- ・水郷の自然美と里山、農地。
- ・恵まれた気候と風土。広大な土地と豊かな河川。
- ・利根川や黒部川などの、川沿いならではの豊かな自然。
- ・水、自然環境。これ以上汚すことなく伝えていきたい。
- ・水と緑と広大な土地があるのだから、それを上手に活かせると思う。
- ・広大な丘陵、水田地帯、豊かな河川を活かしつつ、伝統ある町を未来に繋ぐ。
- ・自然環境が豊かであり、農作物が豊富に取れることが強み・魅力である。小野川沿いの町並みは、観光資源としてもっと活かすべきである。
- ・利根川沿いにある、川と自然が最大の特徴だと思う。小見川の花火大会は知名度もあり、それを活かすべきだと思う。

歴史・文化

- ・歴史と文化。
- ・歴史ある町並み。
- ・香取神宮。
- ・佐原の大祭。山車祭り。
- ・小野川沿いの古い町並み。
- ・伊能忠敬、伊能記念館。地図の町。
- ・歴史ある町並みとそれを活かそうとしている団体。
- ・古い文化的建物（佐原の江戸の町並み）を利用した観光産業。
- ・それぞれの地域にある文化遺産（香取神宮・佐原の大祭・小見川の花火など）。
- ・あやめが当市の売物。ただし中途半端の感あり。
- ・歴史あるまちなので、もっとアピールすべき。
- ・歴史、町並みなど昔ながらのものを破壊せず伝統を継続すべきと思う。
- ・小野川の歴史的な景観と古い時代の雰囲気をもっと大切に観光を活かすべき。

農 業

- ・ 農業が盛ん。
- ・ 農作物の多さ（米、野菜、さつまいも等）。
- ・ 広い土地。静かな環境。ほがらかな農村環境。
- ・ 農産物を活かした地域交流（イベントなど）。
- ・ 地域農業の生産物の安定化を計り、地域の財産に活かす。
- ・ 香取市は、農村都市のため農村が豊かにならなければ元気が出ない。
- ・ 農産物。農業経営者の充実を図り、安心して暮らせるようにして欲しい。
- ・ 農業や畜産業が主な強みだと思うので、もっと TV やインターネットにアピールした方が良いと思う。
- ・ 稲作や畑作など、農業に支えられて発展した歴史があった。ただ漫然と作物を作るのではなく、消費者のニーズに応えた地元産の特産物を根気よく作り出していく努力が必要だと思う。

立地性

- ・ 成田空港に近いこと。
- ・ 鹿島工業地帯に近いこと。
- ・ 東京から近距離にある。
- ・ 香取インターまでが近いので都市部への交通が便利。

その他

- ・ 地域の人々の結びつきが強い。
- ・ 4つのコア（佐原、小見川、山田、栗源）の尊重。
- ・ 地区の1つ1つに特色があるのだから、それを上手く利用すること。
- ・ 小見川にはソニー、ちば醤油、その他の工場がある。佐原は観光、山田・栗源は農産地で、それぞれ他から人を呼びよせる原石がある。それを少しずつ大きくして宝にすればいい。
- ・ 活かすべき地域資源は「人」。自分の価値や能力を生かし、他の人の役に立てる人間こそが最大の強み・武器である。

(2) 香取市の弱み・自立し発展するための課題

生活・環境

- ・ゴミ問題。
- ・黒部川の汚さ。
- ・消防署の建て直しが必要。
- ・子供を安心して産み育てられる環境にないこと。
- ・田舎なのにきれいではない。環境にもっと配慮すべき。
- ・公共の施設、公園などがひどく荒れている。市全体に明るさがない。

保健・福祉

- ・医師不足。特に産婦人科、小児科。
- ・病院等、医療機関の充実。医療サービスの充実。
- ・子育て中の人に対する支援の充実。
- ・佐原地区だけに重点を置くのではなく、すべての地区に、公平に、医療サービスをお願いします。
- ・医療体制が十分でないことや、子育てのしやすい環境がまだ不十分であると思われるので、それらを整えていくことが大事だと考えます。

農 業

- ・農業者の減少。
- ・これといった特産物がない。
- ・農業の担い手の減少。担い手の育成が必要。
- ・これからの若者が農業を継ぎたくなるような環境づくり。
- ・もっと農業のしやすい環境を整えるべき。農機優先の農道でも優先されていない。
- ・これまで農業を支えてきた人たちは年老い、農機具も高価で、現在の農業は採算に合いません。
- ・休耕田の荒地の処理。このままでは害虫等の発生源となるため、なんとか対策を講じてもらいたい。
- ・農業の啓蒙と都市との交流。行政の無駄を無くし、市の発展を真剣に考えてくれる人に将来を託したい。

観 光

- ・観光都市整備。
- ・観光の活性化。
- ・観光の目玉が無い。
- ・日帰りでの観光が多い。宿泊してもらおう体制をつくるべき。
- ・観光資源を活かしきれていない。住民まかせ。市政として何をやるようとしているのかわからない。何もやっていないように見える。地場産業を盛り立てようとしているのか、観光客に来てもらいたいと考えているのか不明。

商工業

- ・産業のバランスの悪さ。
- ・産業の衰弱、人口の流出。
- ・産業が弱く、近隣市に仕事へ行く人が多い。
- ・農業だけでなく、他産業等で切り開いていくということではできないのか。
- ・工業団地が少ない。
- ・後継者の不在。所得の向上。
- ・商店が少ない。商業の力が弱い。
- ・商店街の減少（駐車場の確保、商店会の協力・工夫）。
- ・新旧商店街の気持の隔たり。意思疎通の貧弱さ。
- ・大型店の進出によって衰退した各商店街の活性化が必要。
- ・デパート等、ショッピングの場がない。娯楽施設がない。
- ・専門店などが少なく、ありきたり物しか手に入らない。特色のあるまちづくり。
- ・閉鎖的。大型のショッピングを作るべき。周りの市町村の方が発展している。
- ・産業、とりわけ商業は集客力、吸引力の低下という点では脆弱な状態。根本的に生き残れるような抜本的指導が必要。
- ・商店がこれだけ並んでいるにもかかわらず元気がありません。観光に力を入れすぎ。それだけのお金を、他の面にも使ってほしいです。

企業誘致・雇用

- ・工業団地の整備。
- ・企業を誘致し、財政を豊かにする。
- ・製造業などの工場がないので誘致する。
- ・大規模に集客するホテルや商店街が無い。
- ・企業や大規模小売店などを積極的に誘致すること。
- ・空港が近くにあっても企業の誘致がなかなか進まない。
- ・企業の誘致を積極的に進め雇用の推進を計り市の発展と活性化を。
- ・企業誘致をし、若い優秀な人材の流出を減らす。一度は借入れをしてでも将来を考える。
- ・働く場所がない。
- ・若い人を雇用できる産業が少ない。
- ・健全な企業を多く誘致して多くの働く場を確保し、市民の所得を豊かにする。
- ・人口の減少を食い止め、若い人が地元に着定できるように、「働く場所」を長期計画をたてて、つくっていくことが課題。
- ・若い人が地元に残らず、皆出て行ってしまおうような気がします。もう少し働けるような企業などがあると活気が出ると思います。
- ・香取市には第二次産業が少なく、就労の場が少ないので、第二次産業の誘致が重要課題である。
- ・企業誘致などにより増税対策を充実させ、若者にとって魅力的なまちづくり、就職の機会を増やして欲しい。ショッピングセンターの建設に反対しないで欲しい。

- ・表が成田市で香取市は裏の感じが否めない。それ故か企業等の誘致が思うにまかせず、起業者も香取を敬遠しているのではないか。

中心市街地

- ・駅周辺のさびしさ。駅周辺の見直し、活性化が必要。
- ・駅周辺や中心地が閑散としている。商店が活性化してない。
- ・大型商店は稲敷市へ出店され、買物客も佐原から出ていっている状態です。
- ・佐原、小見川のまち、特に中心部のあかりが消えていること。活気がありません。
- ・佐原駅周辺が、もっと、賑やかになってほしい。ポポと清見屋がないのが、買物に不便。
- ・昔からの地域商店街がくたびれ、駅前通りに活気がなくなりました。町ぐるみの発展を望みます。
- ・佐原駅前の商店が死んでいる。十字屋、清見屋跡地の利用。佐原小江戸にこだわりすぎる。
- ・洋品屋さんなど個人の店がとても少なくなりました。佐原はデパートが1つもありません。昔はよく出かけたのに、最近はウィンドーショッピングも出来ません。
- ・駅前の駐車場を毎日利用している人の割引をして欲しい。300円×30日=9000円は高すぎる。
- ・旧佐原市は活気がない。街に活気を持たせる。例えば、街並みのシャッターのおりている商店が多すぎるので、まず各商店が営業できる方策を考える。

交通

- ・交通の便の不便さ。
- ・電車が少ないこと。成田線の複線化。
- ・電車・バスの本数が少なく移動できない。
- ・電車が1時間に1本程度しかなく、時間をつぶす場所が無い。高校が4つもあるのに。人は動いているのに。
- ・小見川大橋の交通渋滞。
- ・国道、県道等のアクセスの充実。
- ・商店街の道路が狭い。観光バスが入りにくい。
- ・佐原の街内の道路が狭い。電線類を地中化して電柱等を撤去し、道路を広くすべき。
- ・交通網の発達。産業の発展。高齢者が外に出易い環境づくり。まずは高齢者に目を向けてみる。そうすれば、おのずと市民全体へと広がっていくと思う。とにかく外に出易いまちづくりを。

行政運営

- ・行政の力強さが感じとれない。
- ・市の職員さんたちが先頭に立って市民をひっぱって行く。
- ・市の行政が市民を統率する力が足りない。他から移住した者にも是非配慮をして欲しい。

- ・市役所の職員は専門的知識を持つ人材が少なすぎです。特に福祉の分野はもっと勉強して下さい。市役所職員の人材育成をお願いします。
- ・住民が利用する情報が無い。
- ・全市民と行政のコミュニケーションの向上
- ・民間への委託等を積極的に行い活性化させる。
- ・どのようなまちにするかという方向性の無さ。
- ・地域特性を再度見直す。市民の声をもっと聞く。
- ・職員の削減。問題意識が少なく、仕事に対し無機質な方が多く見受けられる。
- ・いわゆる箱物行政はもういらない。職員はもとより、議員の方にもっと働いてもらって、香取市が豊かになるよう努力してほしい。
- ・地域格差の解消。
- ・旧佐原に設備が集中しすぎている。
- ・発展した過去の栄光を捨て、新時代に合ったまちづくり。
- ・4町への分権。利用する市民の不利、不便を無くし、公平化する。
- ・排他的な考え方の排除。外部からの経済活動の受け入れ（特に旧佐原市）。
- ・香取市全体に、平等な施しがされてないと思う。どうしても、旧佐原市区域だけを取り上げているように感じる。
- ・住民に対するサービス意識が、旧佐原市職員は低すぎる。旧佐原市は旧3町の意見を聞かずに、独走している気がする。香取市の弱みは、統一されていないこと。旧佐原が中心になっているため、旧3町のサービスが低下してしまったこと。

財 政

- ・負債が多い。
- ・財源の確保。税の徴収のあり方の見直し。
- ・借金ばかりで発展が難しい。財政をきちんと見直してほしい。
- ・とにかく財政の見直しが重要。予算は使いきる体質は公務員だけ。
- ・税収が少ない。有力な企業を誘致して、産業を発展させてほしい。
- ・佐原の祭りに予算をかけたくない。一年に一度でいいと思う。
- ・財政難。町政から市政になり要望が受け入れられない。市の組織改革が必要。
- ・行政の非効率、財政基盤の脆弱化、民間以上に働いて借金を返しましょう。夕張市のようにならないように、岩手県滝沢村を見習って下さい。
- ・発展のためのもとはお金（予算）であり、借金を減らすことから始めるべき。テレビで知ったのですが、職員が自分達で掃除（役所）等を行い、浮いた予算でまちを活性化させる所もあるとか。

合併後の一体感

- ・市全体としての一体性の欠如。
- ・旧市中心の行政では合併の意味が無い。
- ・旧佐原市、旧小見川町は排他的な感じを受けました。
- ・合併された市町の一体化。市報くらいしか実感がわからない。

- ・旧市町のこだわりを捨て、香取市という枠で考えていくこと。
- ・一致団結、心の豊かさ、等できるよう繋がりを大事にしていくことが大切だと思います。
- ・合併する前の各町というものがどういう状況だったかまだ把握されていないので、そういう面から調査していかないといけないのだろうと思う。
- ・1市3町が合併したが、所帯が大きくなったことで、各地域の細かな所に対する配慮が不十分になるのではないかと。また予算の配分等で、地域エゴが出やすくなり、公正さが保てなくなるのではないかと。市行政の公正さと市民による行政チェックがどうしても必要だと思う。

市民の姿勢・意識

- ・旧佐原市街の意識の閉鎖性。
- ・新しい人、ものをなかなか受け入れない。
- ・市民で、協力性がある人と薄い人の差が大きい気がする。
- ・総合的にプロデュースする先見性のあるリーダーがいない。
- ・個人主義の人が多く、ことなかれ主義、さわらぬ神にたたりなしの人の集団である。
- ・市民全般が多くの問題点を人ごとと感じ、関心を持たない。合併直後であり、市の機能が上手く働いていない。
- ・過去の遺産に頼りすぎている。田舎ならではの損得意識の強さと都市では考えられないいい加減さを持ち合わせた住民の意識感覚。「町並みを保存」、または「商売繁盛」などを目指した場合に共存共栄の精神が無い。
- ・市全体の発展とか向上とかの話題が少なく、目先の地域(旧町)の利益の追求。少々情けない人が多い。先ずこの辺の所から払拭し、市民全体のレベルアップからスタート。市民意識の共有化が大切。
- ・昔の人が残してくれた有利な条件にあぐらをかいていた。放っておいても佐原は栄えると思っていたところがある。どうすれば良いまちになるかと考える力が、市民全体として不足しているのでは。

少子化・高齢化

- ・人口減少。子どもの減少。
- ・少子高齢化と若年層の流出。
- ・自分の街で子どもが産めない。
- ・人口流出を防ぎ、若い人たちが好んで住めるまちづくりを。
- ・少子高齢化による人口の減少。子育て支援の充実と結婚適齢者に対する支援。
- ・人口の減少が起きて、まちの活気が段々無くなってきていると思われる。過疎化を防ぐためには外部から移住がない限り増加する事がない。人口維持、増加に向けて何か対策が必要と思われる。

その他

- ・活気が無い。

- ・個性が無い。
- ・都市化が進んでない。
- ・国際交流。
- ・宿泊施設が無い。
- ・ネット環境の悪さ。
- ・市の知名度。地理的に中途半端。隣接市に商業面で劣る。
- ・合併し、広範囲として広くなっただけで、周囲も環境も何も変わらない。
- ・香取市としての産物を何か作ったほうが良い。香取市に来たら、このお土産というものを。
- ・古きよき物は今までどおりでよいが、若い人と力を合わせて新しいものも取り入れて街を活性化できればよい。
- ・地元で働く職場や買物する店がない。また、子供を産んだり育てたりするため、診てもらえる病院がない。すべて隣接している市町に頼っているのが現実である。
- ・正直いって、老後に住みたいとは思わない。大きな病院はなく子どもも産めない。今後は老人ばかりの何も無いまちになるだろう。
- ・都市部の人を求める「田舎＝自然豊か、自然と共生した農業」というイメージをこわさないように、現在の取り組みを見直し、より魅力を向上させる。農薬空散の廃止、有機農業の推進、合成洗剤使用抑制、産廃反対など。

(3) 香取市の今後のまちづくりの方向性

自 然

- ・自然と共存できるまちづくり。
- ・豊かな自然を活かしたまちづくり。
- ・自然にも人間にも優しいまちづくり。
- ・成田市は「空」、銚子市は「海」、香取市は「大地」。
- ・緑豊かな良い所と思っている。このままでよい。
- ・自然を生かし、ふるさと感じるまちづくりをしてほしいと思います。
- ・他力本願はやめ、実在する豊かな自然を活かした地域づくりをして欲しい。
- ・自然環境を大切にしながら、福祉、産業にも力を入れて欲しい。

生活・環境

- ・人々が安心して暮らせるまちづくり。
- ・もったいないを強力に推進する。
- ・防犯や防災体制がしっかりした安全なまち。
- ・資源が少ないまちなのでもっとリサイクルに力を入れるべき。

健康・福祉

- ・安全・安心で、老後の心配のないまちづくり。
- ・子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまち。コミュニティ施設の充実を。
- ・まず、医療サービスの充実。そして、高齢者の介護。
- ・子どもがだんだん少なくなっています。若いカップルが住みたいと思うようなまち。
- ・とにかく人は健康第一だと思うので、病院を整備するだけでなく、病院へ行かなくてもいいように、予防を推進し、市民が元気なまちづくりをしてほしいです。
- ・人口を増やす対策(企業誘致等)をしながら、安心して住めるまちづくりを行なう。
- ・1人暮らしの老人が自由に友人とお茶を飲んだり話をしたり、誰でも集まれる場所ができれば良いと思っております。
- ・まちづくりの方向を考えるには根本的原点に返って考えるべき。嫁不足、少子化問題に町ぐるみで良い案を出し、努力し、人口が増えれば良い方向に行くと思う。

教 育

- ・将来の発展のためにも、子どもの健全育成に重点をおいていただきたい。例えば、子どもの足では移動困難な地域であることを考慮して、子ども同士が集い、遊び、学ぶ場を作ると共に、そこへ行く手段を確保して、有効に活用してもらいたい。
- ・測量士・司法書士等を育成するための専門学校、又は大学校(仮称：伊能忠敬大学)を設立し、全国から学生を集めることにより町の活性化が図れる。

農 業

- ・農業及びその周辺産業の活性化。
- ・農業と工業が共存できるまち。

- ・農業と商業が共存して行けるまちづくり。
- ・「農」と「歴史」を中心に押し進め、そこから新しいものを生み出してほしい。

観 光

- ・観光商業都市としての開発。
- ・観光資源を活かしたまちづくり。
- ・商業施設や自然を活かした観光づくりにもっと力を入れて欲しい。
- ・各祭りやその他の行事等に対して、招待や積極的な参加が必要だと思う。
- ・気候が温暖な事を活かして、もっと人を呼び込めると思う。観光、ここに住みたいと思う魅力あるまちづくりをすべきである。
- ・観光誘致もやっている割に成果があまりでていないと思う。住む人をふやしたらどうだろうか。
- ・観光地化はしなくていいと思う。お客さんはお金をおとしていってくれるけど、ゴミもおとしてくのではないのでしょうか。それよりも、市民一人一人が温かく、安心して暮らせるような町にして欲しい。

商工業

- ・商業、工業を広い目での推進。
- ・たのしく安心して買物の出来るまち。
- ・とにかく人を集めること（アウトレットショップなど）。港の復興。
- ・香取市の商売を発展させ、収入力をUPする（商店、観光、イベント）。
- ・大型駐車場を備えた総合ショッピングセンターが地元にあるといい。
- ・大きなショッピングセンターでなくてもかまわないので、皆が集まりやすい建物を作って欲しい。
- ・市街地の再開発では、町並み保存区域と商業地域を区分。各商店は個にとらわれず集合施設とし、大型商業施設化する。駅舎の階上も商業施設を造る。
- ・今まで町を支えてきたのは中小企業だと思う。それがこの不景気にどんどんつぶれていっている。とても悲しい事だと思う。中小企業を大事にして欲しい。
- ・江戸時代より商業のまちとして栄えて、何代にも渡って支えてきた老舗の小売店が消えてゆくのはとても残念。高齢化がもっと進み、歩いて買物に行ったり、魚一切れ、下着一枚でも届けてくれるようなまちはもうできないのでしょうか？

企業誘致・雇用

- ・企業誘致の推進。町を豊かに。
- ・企業誘致。働く場所を、確保してほしい。
- ・立地を生かして産業を誘致し、人口の増加を図ること。市の活性化につながる。
- ・地域に入ってくる商店、企業を拒絶しないで受け入れる姿勢が大切だと思います。
- ・大型ショッピングセンターなどの企業を誘致して、経済面における競争を活発化して、活気のあるまちにする。
- ・地場産業を活かしながら、工業団地等を誘致し、働き口を作る。老若男女が共に共

存していけるまちづくりを積極的に推進する。

- ・ITを駆使すれば東京近郊の高い住宅コストを避けて、ハードとソフトのITセンターを作ることができる。その際、成田空港から近いところに、一大センターを作る。縁と設備等条件を整え、世界にアピールする。ベンチャー、巨大IT企業問わず、積極的にアプローチする。
- ・今地方で元気なところは、企業をもっているところである。企業の誘致、特に2～3千人規模の大企業またはハイテク大学。実現されれば、市の財政も豊かになり福祉の向上、若者の就職、商業の活性化、全てOKである。農学については、ハイテク農学を進めるべき。一律に補助金を出すのではなく、やる気のある農家にはどんどん金を出す。高品種の農産物を生産すれば、必ず売れる。輸出するぐらいの気持ちでやるべきだ。産業の発展あってこそそのまちづくりだ。

中心市街地

- ・香取市の玄関である佐原駅周辺の整備。
- ・佐原駅の前をの活気を取り戻すと共に、香取市全体に活気のある市にして欲しい。
- ・旧佐原市の駅前を今より活性化する。駅前は、その街の玄関であり、顔なので外から訪れた人が一番先に接する場所なので、活気ある街をアピールする必要がある。
- ・佐原や小見川など駅前がとても寂しくなっていました。昔のようにもっと人の集まるようなまちになって欲しいです。
- ・駅前商店街を元の賑わいに戻すため、市がお金をだすのはムダ。住宅街として利用した方が良い。
- ・駅周辺を考えるからまちが沈んでいる印象を受けるが、JRの本数が増えない現状では駅周辺の活性化は無理と考える。道路や高速道路をフルに使ったまちづくりでもよいのではないか。

都市づくり

- ・もっと都市化を進める。
- ・佐原、小見川の中心部にメスを入れる。
- ・コンパクトでまとまっているが、周辺の整備も必要。
- ・先ず、人口流出を防ぐ為、生活基盤を整備する（住宅、交通網、上下水道等）。
- ・成田、鹿島方面に勤務する住宅地として開発すべきである。そのために51号線の整備を必要とします。
- ・古い町並み、観光では何も発展しない。一部の人の利益になるだけだ。交通、都市づくりを整備し、人口（人材）と税収を増やすべきだ。

交通

- ・幹線道路、生活道路の整備。すべては道路から始まる。
- ・交通網の充実を図り、東京までも通勤圏になるようにし、若者を増やす。
- ・成田、千葉市、東京への交通のアクセスをよくして、人口減少に歯止めを。
- ・車に乗れないお年寄りなどのために、循環バスなどを運行させ、子どもも安心して過せるまちづくりをして欲しい。

- ・市街地（役所所在地）周辺の道路整備ばかりではなく、田舎の地域の道路を整備する。本当に市民の役に立つ税金ならば、いくらでも納税いたします。
- ・香取市中心部の町並みは道路も整備され、そこを離れると道路がデコボコ。もう少し全体を見て欲しいです。農村地域にも生活の下水の完備をして欲しいです。お願いします。

行 政

- ・皆で協力している明るい市になる。
- ・市民の意見も大事にお願いします。
- ・市民の意見を聞きながら、意見をまとめる。大きいことは、住民投票で。
- ・教育、文化、福祉を中心に住民と協働で切り開く事が重要である。
- ・急激な経済発展が見込めない現状で、市民参加ボランティアの推進で老人が安心して暮らせるまちづくり。
- ・市民が自立してまちづくりを行うために、NPO 法人の設立・運営を行政がバックアップしていく。
- ・ムダを完全に排した合理的な市政。民間人になったつもりで、将来に希望をもてる市にしてほしい。
- ・小手先だけの対策では、香取市は変わらない。抜本的に再計画をしない限りまちは活性化しない。
- ・思いつきの施策をやめ、各方面からの意見を取り入れ、長期的なまちづくり計画を作成し、実行していく。
- ・既存のものを大事にするあまり、新しいものを受入れられないのでは発展しないと思う。その中へ入り込んでいく指導を。
- ・今現在、何に重点を置いているのか、わかりにくいので明確に重点を出していった方がよいと思います。住んで良かった、ずっと住んでいきたいまちとなるように。
- ・皆、自分が生活するのがやっとなで、人と人のつながりが失われているように思います。皆が参加できる何かを。
- ・経済成長も財政再建も行き着くところは企業のイノベーションを含めた自助努力にある。人と企業を育てるまちづくり。想像（イマジネーション）と創造（クリエート）ある新しき香取を目指すべきだ。
- ・統一されなければ発展はありえない。地区毎にバラバラなサービスを、旧3町職員をプレーンに統一を進める。ただし、暮らしやすさを大切に、旧3町のサービスを低下させない。よく働く民間に委託できる業務を委託し、その分、働かない職員のリストラを。まず人件費から借金を減らしてゆく。

財 政

- ・市の組織を合理化して、財政を立て直す。
- ・健全な財政の確立。市民の声の届く議会議員の選出に1人1人が真剣に取り組む。
- ・市民の汗水流して働いた大事な税金を、無駄なく1市3町が公平に使われることを望みます。

一体化・交流

- ・ 4 地域の融合。行政への共通意識の醸成。
- ・ 小見川、山田、栗源の積極的な市政への参加。
- ・ 合併直後で、まだ 1 市 3 町が、個々に運営されている感じ。香取市となるための交流をさかんにし、1 つにまとめていく必要がある。
- ・ 合併したとはいえ、市民はまだばらばら。各地域の利害ばかりが優先している。市民が一体感の出る行事・イベントを多くとり入れてください。
- ・ 人の交流。各イベント等を区単位の実施でなく、市全体を考えて、廻り番で各地で行い、互いに交流を深める。
- ・ 今はまだ ” 香取市 ” という実感が湧かず、私も周囲の人達も ” 香取市 ” としての連帯感がない。香取市として市全体での行事を開催するなど、他の地域との交流が必要ではないか。
- ・ 文化的な催し、スポーツ競技等が各地区であるときは市のバスを運行するとかして、積極的に参加できるようにしたら、各地域の人々とのふれあいやまとまりができ、まちづくりの近道のような気がします。
- ・ 一部でのまちづくりにならないようにしてもらいたい。
- ・ 区制の廃止。旧佐原市街地のみにお金をかけていると思う。
- ・ 佐原だけ発展しているように思える。その他の地域ももっと発展させる。
- ・ 香取市の郊外、隅々に目を向けてください。中心部も大切ですが、廻りがあって真ん中があるのです。市民が期待する行政にして下さい。
- ・ 市内の中心で盛り上がっているイベントに力を入れすぎないで、公平に多くの人に参加できることを考えて欲しい。
- ・ 合併によって、市民サービスや整備事業等の財政配分に地域格差が生じるなどの偏りのない、安心して暮らせる市民参加型のきめ細かいまちづくり。
- ・ 田舎なりのイベントをやること。
- ・ 各区の（各町）元々の特色を殺さず、活かしていく。
- ・ 各区の良い特性を生かして、ゾンスペースにしていく。まだ、統一されていないものは、早期に改善すべき。

若 者

- ・ 若者の集まるまち。
- ・ 若い人がいきいきと働けるまち。
- ・ 若い人達がここに住みたいと思う方向に。
- ・ 住む若者が自分たちのまちであるという意識を持てるように。
- ・ これからの子どもたちが地元を離れないような魅力的な場所をつくる。
- ・ 若い人たちがもっと農業の跡継ぎに従事できるように、ふれ合う時と場所があるといいと思う。

住みやすさ

- ・ 住みたいまち。

- ・人に優しい文化都市。
- ・市民がより住みやすいまちにしてほしい。
- ・地域別に住みやすい環境を伸ばしていく。
- ・住んでいて良かったと思うような市になったら良いです。
- ・住みやすい市にするために市民一人一人が市について考える。
- ・だれもが老いても暮らしやすい、ここでずっと住みたいと思うまち。
- ・地域性を大切にしながら、幅広い世代の人たちに好まれるまちづくり。
- ・落ち着いて暮らせるまちの雰囲気を持つまちづくりを今後も進めて欲しい。
- ・無駄がなく、必要なものが良好に存在するまち。市民の笑顔がみえるまちづくり。
- ・生活するうえで市民が良かったというまちづくり。観光、産業、市民日常生活の更なる向上に向けたすがすがしい香取市。
- ・古くからある“まち”。古くても良いところは残し、若い世代にも住みやすい便利さもとり入れて欲しい。
- ・老人や障害者等弱者に優しい、若者が地元に住める地域づくり。老人パワーを活かして何か出来ないか。

活気・元気

- ・積極性のあるまち。
- ・元気のあるまちづくり。
- ・活気あるまちづくりをしてほしい。
- ・眠ったようなまちにならないようにお願いします。
- ・昔からの文化を尊重し、活気のあるまちづくり。
- ・人と市が息づく、そんな活気溢れる都市づくりを心掛けてほしい。
- ・子どもたちが住んでいたいと言ってくれるような、明るく元気に満ちたまち。
- ・町並みを利用した観光事業と、産業と農業とが融和した緑豊かな暮らしやすく活気のあるまちにして欲しいと思います。
- ・市の中心である佐原の街中をもっと活性させ、商店の繁栄と農村部の良さを引き出し、人口増加を。

その他

- ・バランスのとれた市になって欲しいです。
- ・中途半端なまちづくりではなく、徹底してやるべき。
- ・これからの情報化社会に乗り遅れないようにネット環境を充実させてください。
- ・古き良き物は大事に保存。新しい物はそれ等にマッチさせたまちづくり。枠にはめ込まない。
- ・便利だけれど、どこにでもある市ではなくて、豊かな自然を生かした香取ならではの市づくり。
- ・現在は何をすることも香取市外ですることが多いので、すべて香取市内でできるようなまちづくり。
- ・衛星放送による双方向中継で東京指向型各家族と行政とを繋ぐ。放送網を活かした

情報発信で消費者市場と繋いで、農産物の直接流通網を確立する。

- ・以前市の主催で男女の出会いの場が設けられました。昨年度までも結婚に関する相談室もありました。市の活性化を図るためにも若者の出会いに賛助した企画を提案し、若者が将来を語り合える魅力のあるまちにして頂きたいと願っています。
- ・佐原中心なのはわかるが、力を佐原に入れすぎて、他の町（旧山田とか）が合併する前より元気がなくなっているような感じがするので、その町の持っている所を活かして発展すべき。
- ・協力、感謝の文化と生活。農業・商業・工業・生産・情報関係・教育・医療・高齢者の活躍の場、青少年の活躍の場、全て大事、やれる事はどんどんやってゆこう。積極性・前向き・建設的な考えで、行動を子供たちにどんどん見せてゆこう。1度や2度の失敗許してあげよう。全て勉強。自分たちのためになっている。
- ・自然と高齢者が増え、それにともなったサービスを増やしたり、買物できる場所を増やしたりすべきだと思う。商店街の人たちの反対で、ショッピングセンターの設置の話がなくなったなどと耳にしますが、むしろ商店街の活気が感じられない今、それもやむをえないと思う。積極的に行わなければ何も変わらないと思う。

(4) 香取市のまちづくりに関する具体的アイデア

生活・環境分野

〔安全・施設整備〕

- ・中心地に防犯カメラの設置を。
- ・通学通勤道路での歩道の確保。
- ・街灯が少ないので、もっと増やして欲しい。
- ・道路、道のバリアフリー（安心して歩けるよう）。
- ・シックビル、シックハウス、シックスクール等の予防のため公共の建物の新築、改修、改装はホルムアルデヒドやVOCの極力低いものとする。

〔安全・ソフト〕

- ・犬の散歩のついでに、地域を見守る。
- ・空交番を利用するなど、市民パトロール。
- ・「ご近所の底力」のように挨拶、声かけが大切。
- ・災害などのとき避難する施設などを示した地図を作る。
- ・余力のあるお年寄りに低学年の児童の登下校をみていただく。
- ・せまい道をスピードをあげて走るドライバーがいる。取り締まりの強化。
- ・危険な所があるのは仕方がないが、それを徹底的に伝える。万一、危ない事態になった時、どのように対処したらいいか、など。
- ・お年寄りだけで暮らしている家に訪問する。話をしたり、お年寄りでは出来ないことをする。電球を替えたり、世間話や、詐欺などに引っかからない対策とか。

〔環境・施設整備〕

- ・まちに木を千本植えて、歩道を整備する。
- ・大型公園を作る。広くて親子が安心して遊べる公園をつくる。
- ・休耕地等を利用した公園等を作ってお客様を呼ぶような活用を。
- ・里山公園の設置（下小野の山から田んぼへ流れ出る清水、湧き水、水生動物）。
- ・道路側に生活排水溝の建設（佐原3中学区）。井戸水使用地域への上水道の建設。

〔環境・ソフト〕

- ・草刈りの徹底。草刈り条例の制定。
- ・道路ワキの草・木の手入れをもっと多くできるように民間と契約を。
- ・田畑が多くても自然があるとは思えません。農薬等を減らす農法をして下さい（ヘリコプターによる農薬散布は反対です）。
- ・地球に優しい安心できる消耗品（有害化学物質の含まない）の使用を推進して欲しい。洗剤等。
- ・不法投棄の監視員の増強（地域ボランティア）。道路を広く明るくするために、除草・樹木の枝払い等。
- ・農家などではまだ敷地内で燃やしを行い、ダイオキシンや周囲の燃やした跡の臭い、迷惑をわからない人がいる。公民館などで講演会などを行い、なくしたい。
- ・畜産業の方はし尿の処理をきちんとしていないようなので、行政が無料でくみとりに来る、というのはどうでしょう。周辺住民は大変迷惑です。

〔ごみ収集・処理〕

- ・ゴミ拾い。市を上げての大掃除。
- ・ゴミの分別を徹底、指定袋制の導入。
- ・リサイクル回収場所の設置とリサイクル品の売却。
- ・資源ゴミを常時回収可能な場を設け、回収率を上げて市の財源として活用する。
- ・ゴミ収集は祭日に休まない。ステーションをもう少し増やして、常にきれいにしておく。
- ・物々交換センターとか、 unnecessaryなものを一定期間預かり展示して必要な人がいれば安値でゆずる。誰もがいつでも利用できるフリーマーケット兼リサイクルセンターなどあったらどうか。今何があるか、インターネットで在庫確認できるとか。

健康・福祉分野

〔高齢者福祉〕

- ・高齢者福祉対策大型介護施設の設置。
- ・老人ホームに誰でも安く入所できるように。
- ・老人が増えても介護施設が少ない。施設を増やす。
- ・認知症など介護が必要とされる施設が不足しています。
- ・介護サービスの充実。介護予防の集まりなどを各区でして下さい。
- ・施設は必要ですが、施設を増やすことだけを考えるとダメ。
- ・お年寄も働ける場を提供する。老人の話の聞いたり、話せる機会を設ける。
- ・定年になった人達の力を結束すれば、多大な分野に貢献出来ると思います。
- ・高齢者にあったバリアフリー化。高齢者に優しいまちづくりをしていく。
- ・1人ぼっちの老人が多い。デイサービスというより、そんな人々が気軽に集まれる、「憩いの場」(公民館)などを提供したらどうか。お茶会程度で。
- ・デイサービスを受けていないお年寄りが出かけられる場所がない。ふれあい祭りは人がたくさんいて危険。公民館で座って見られるイベントを考えて欲しい。

〔子育て〕

- ・保育料の減額。
- ・児童館を増やして欲しい。
- ・低年齢の子どもが医者にかかるときの低料金化。
- ・子育て中の小学6年生まで、医療費を免除。他の市町村より遅れている。
- ・少子化対策として、保育料の低減。就学前まで医療費の無料、低減化。
- ・保育園や幼稚園はあるが、託児所というものがないと思われる。若年層の共働きの手助けに必要と思われる。住宅地、街中に建設。
- ・市が委任した人に、時間制で子どもを預かってもらえる体制を作る。場所の提供も必要と思われる。

〔障害者福祉〕

- ・障害者などが働く事業所などへの援助金の支給、低利貸出しなどの実施。
- ・身障者がねたきりにならないように、軽い時からのリハビリがワゴン車の送迎で利用できるようにしたい。

- ・障害者が働きたくても、どこをまわっても受け入れてもらえないのが現状です。障害を持っていても、仕事によっては出来ることもあると思います。どうぞ、障害を持った人にも働く場を与えて下さい。

〔福祉その他〕

- ・少・中学生と高齢者の交流。
- ・老人と子どもの施設の一体化。
- ・子どもたちの教育の場と高齢者の自立支援の場が一体化するような環境づくり。例えばあいている教室をデイケアに利用するなど。
- ・福祉は、ボランティアではない。福祉に携わる人への給与水準の向上。
- ・ボランティアの協力により、老若男女問わず自分のできることを活かすことができた。
- ・地域通貨制度を作り、誰もができることを通貨とし、サービスを受けられるようにするとよい（ボランティア活動と産業、商業の結び付き）。
- ・市民活動・地域活動に参加した時に、例えばポイントを付ける。市内の協賛店で買物時の得点となる。他市では既に行われている。検討して下さい。
- ・1つ提案させてください。ボランティア活動されている方にそれなりの物を何種類かの中から選んでもらい差し上げるといことです。（参考に3万円程度＝旅行券、商品券等、2年以上活動された方）。
- ・少子化対策教育への取組。
- ・福祉会館のようなものを作って頂きたいです。その中で趣味・運動・談話等したいのですが、無理でしょうか。また、老人の税金の減額もして欲しいです。

〔保健〕

- ・健康増進センターの設置（ジム・プール）。
- ・老若男女問わず、誰でも利用し易く、そして手ごろな料金で利用出来るような大型に近い整備されたスポーツジムを街中に建設。
- ・区の検診が国保に入っている人だけで、社会保険の家庭は受けられないので、出来るようにして下さい。
- ・結果ばかりに気をとられず、予防、向上に気をつけ、施設を作り考え、長い目で見た健康・福祉行政を考えて下さい。
- ・高齢者の医療費削減のため、運動機能低下や認知症を予防する事に力を入れる。機能訓練や、老人クラブなどの地区活動への助成など。高萩地区を理想モデルとする。

〔医療〕

- ・公立病院の医師住宅の整備。
- ・医師の確保（特別手当による引き止め）。
- ・大学病院、民間病院と香取市間で協議会を持ち、医師の確保を図る。
- ・産婦人科をとり入れてほしい。できなければ、その先生だけでも来てほしい。

教育・文化分野

〔学校教育〕

- ・指導者のレベルアップと増員。授業時間の見直し。

- ・小学生のうちに簡単な英語を話せるような教育。
- ・特区の申請、子供の居場所づくりを発展させて。
- ・海外交換留学（ホームステイ）などの支援。
- ・放課後の学童保育施設（余った教室、スペースで）。
- ・子供が安心して自然とふれあい、仲間と遊べるような学童保育のしくみを作る。「冒険遊び場プレイパーク」と呼ばれるもの。
- ・幼稚園・保育園・小学校・中学校どれも校舎が古く、子供たちがかわいそうである。通いたくなるように整備してほしいです。
- ・学校の備品を充実していくことと、学習障害児に対しての補助の人を各学校に配置してほしい。
- ・市民全体でベルマークを集めて学校で使ってもらう。公共施設に風力、太陽光発電をつける。プラスチック・紙マークのリサイクル。
- ・OBを活用し、スポーツや地域のリーダーに。
- ・外部の方も参加していけるようになるとよい。
- ・学校を地域に出来るだけ開放し、地域で子供たちを育てる環境づくり。
- ・ゆとり教育廃止。塾に行かなくても同レベルの学力が得られるよう、教育内容を見直す。
- ・詰め込み主義の教育より、ゆとりのあるものへ。知識の偏重より、論理へ重点をおく。
- ・青少年のキレやすいのは右脳の発達が遅れているためなので、右脳を発達させるものを強化していく。休み時間のトランプや囲碁・将棋、校庭遊び（ろくむし、石けりなど）など、グループで遊べるものを、学校ボランティアなどを使って浸透させる。「自由な」休み時間を充実させる。学習への意欲も増すと思う。
- ・大学の誘致。
- ・佐原駅前の公民館、清見屋跡地、十字屋跡地を大学や専門学校に仕立て直す。
- ・高等学校が三校ある当地に大学を設置し、若年層の定住と生涯学習の場となるよう希望します。

〔生涯教育〕

- ・青少年のためのイベント広場の設置。
- ・若い人たちが大勢集まるような出会いの場づくり。
- ・図書館を増やす。図書館の閉館時間を長くする。
- ・地域を問わず、交流の場を（若年、中年、高年問わず）。
- ・子供教育だけでなく若い母親の教育が重要。テレビ寺子屋みたいなもの。
- ・香取市スポーツ大会（一般、小学校、中学校、高校）の開催。
- ・若者から老人までそれぞれの世代で皆が参加しやすい諸活動をつくっていくこと。
- ・スポーツ教室、料理教室などを充実させてほしいです。市民同士の交流の場をもちたい。

産業・経済分野

〔農業〕

- ・香取ブランドの育成。
- ・バイオと農業を結びつけた産業育成。
- ・資源循環型農業（バイオ発電と有機肥料の生産）。
- ・もう少し香取米をPRしたら良いと思う。
- ・道の駅（佐原にも出来るので）は、誰でも参加出来るよう、門戸を広くする。
- ・農業が盛んなのだから、特産品のアピールをどんどんやって、もっと沢山の人に来てもらう。買ってもらう。

〔観光〕

- ・日本一のレジャーランドを作る。
- ・伝統地区を活かし、観光をテーマパーク（ジブリ）に交渉し、誘致する。世界的にも有名。佐原にも合う。
- ・佐原の大祭の充実。そろばん曳きなどの曲曳きを復活し、広く内外にアピール。
- ・佐原の大祭で観光客も楽しめるイベントにする。見ているだけではつまらない。町内の人だけでなく、飛び入りで山車が引ける、半纏の無償貸出とか。
- ・釣りや水上スポーツ（ジェットスキーなど）の促進。
- ・新島地区の上をパラグライダーが飛んでいる日があるのですが、新しい観光の目玉にならないでしょうか。発着場を整備して、パラグライダー教室をおくなど。
- ・クライנגルテン栗源が好評であれば、利用料金をもう少し安くして、他地区にも作る。利用者と市民の交流を図るイベント等を行う。

〔商工業・企業誘致〕

- ・空港関連物流業者等の誘致。
- ・大型店が来て、地元商人が入る。
- ・市全体が活性化するよう大型ショッピングセンターの建設。駅ビルなど。
- ・発展のために広い視野を持って対処して欲しい。何でも悪いと決めつけない。
- ・地域性のある特産物の広告と売店の確保。

〔産業全般〕

- ・香取のブランド化。
- ・道の駅などで人気を集める。
- ・旧1市3町の特性を生かした地場産業の育成。
- ・廃業したままで建物だけある土地を開拓して、バザーなど頻繁に行なうようにする。
- ・インターネット接続環境の改善（光通信・高速ADSLなどを、市内全域に）。
- ・地域通貨発行 地元消費 事業所得の増大。ポイント制 特典（商品券等）。
- ・十字屋、清見屋などの大型店を利用し、人を集めるイベントを広く、観光でイベントを増し、外から人を集める。
- ・行政・商店・市民が一体となって、市内のお店で買物をするように推進してみてもどうでしょうか。合併して香取市内にどのようなお店があるかわからない人も多いのではないのでしょうか。商店の営業品目等を一覧にする等。市内の商店・企業に活力がなくては、香取市の発展は無いと思います。

基盤整備分野

〔基盤整備〕

- ・佐原、小見川の駅周辺の再開発。
- ・旧行政境の道路整備（区間の交流を図る目的）。
- ・佐原駅前総合開発（観光地の玄関口として恥ずかしくないように）。
- ・合併直前にやり始めた道路工事を途中で終らせないで下さい。とっても迷惑です。
- ・外環道仮称神埼ICを利用した交通網整備。与倉～川尻間のバイパス道路。
- ・郊外の遊休地を市で借上げて、ボランティア等で子どもの遊びの出来る公園等を作るのはいかがでしょうか。みなさんの健康にも役立つと思う。

〔交通〕

- ・水上バスの運航。
- ・小見川区に循環バスを走らせる。
- ・シャトルバスを増し、自家用車を使用せずまちに出られるようにする。
- ・大型バスでなく、10名程度乗れるバスを香取市全体で運行（民間委託）。市民負担有り。

都市経営分野

〔行政〕

- ・専門家の配置。
- ・有能な民間人の行政への参画。
- ・市議会議員の定数削減。
- ・市民対話会、定期的なアンケート調査。
- ・不応者の減給、配置転換。
- ・民間人の起用で公務員を削減。職員の職務内容等を、市民評価で割り振りを考える。
- ・コネを無くし、実力のある人を採用する。民間並みに能力のない人は降格する。
- ・市営基地施設を各地域に増設して欲しい。特に、新規住民の多い地域に。
- ・市民税を所得別徴収制にする（これが一番公平）。
- ・香取市全体で合同の成人式には反対です。今まで通り私は小見川の人間として小見川の町民会館でやりたいです。
- ・市民からお金を集金するなり募金してもらおう等して、駅前の十字屋や清見屋をこわすか何かしてほしい。
- ・各分野別の各地区との交流を積極的に進めてください（会議・研修・見学・体験学習等）。
- ・各分野共に閉鎖的なので更なるオープン化を目指し、市民全体の目的指向を定着確立させる。目的の明確化。
- ・広報・インターネット等を通して、にぎやかさを取り戻すためのプランを公募し、賞品として土地をプレゼントする。

〔広報広聴〕

- ・民間の人たちの記事を多数掲載した広報やブログを。
- ・地元FM局を立ち上げ、市議会の中継放送や市内イベント情報・ニュース・天気など、地元に着した放送を流し、市民と行政との関わりを図る。

- ・市民1人1人の意見を聞いて欲しい。市長・市会議員が1軒1軒回って意見を聞くくらいの熱意が欲しい。当選したら知らぬふりの態度がみられ、全く残念である。
- ・広報誌ですが、サイズを一般的な書類A4サイズなどにならないでしょうか。保管し易くとおきやすくなると思います。

(5) 香取市の鉄道、バスに対する意見

鉄道（便数）

- ・電車の本数が少ない。
- ・電車本数を増やして欲しい。
- ・鉄道の本数を多くしたら利用が増えると思う。
- ・通勤、通学の時間帯だけでも電車の本数を増やして欲しい。
- ・東京までの鉄道が充実していない。高速バスの方が、時間がかからず便利のため、利用してしまうが、こちら本数が少ない。
- ・特急、快速が少ない（鉄道）
- ・快速電車が少ないので、1日に4～5台増やして欲しいです。
- ・終電を遅くして欲しい。
- ・成田 - 佐原駅間の最終電車を12時半前後着まで増便する。

鉄道（その他）

- ・JRの複線化。
- ・成田線は電車内が汚い。
- ・駅が近くにないため通学に不便。
- ・鉄道駅前をもっと有効に（小見川）
- ・鉄道の駅は出入りがし易い広い通りに面して欲しい。
- ・高齢者が乗り降りしやすい鉄道にして下さい。
- ・佐原駅前の公衆トイレが汚い。他地域からの観光客に不評。
- ・佐原駅駅員の対応が余り良くない。良心的でない職員がいる。
- ・電車にあまり人が乗っていないのに、沢山車両を連ねている。
- ・駅周辺に駐車場を整備して欲しい。
- ・駅や高速バス停近くに駐車場が欲しい。
- ・駅やバス停に駐車スペースが無く、不便なためあまり利用したくない。

バス（便数）

- ・もう少しバスの数を増やしてほしい。
- ・路線バスが昼間の時間帯にあればいい。
- ・小型車で1時間に1回くらいは通って欲しい。
- ・ぜひ循環バスの運行を行って下さい。足がなくてとても大変です。
- ・現在平日だけの運行ですが、せめて土曜日まで利用できればと思います。
- ・循環バスがありますが、車の運転が出来ない場合親子で出かける土、日に運行がないのが不便です。
- ・子供や高齢者は、もっと便利になればバスを利用したいと思います。
- ・高齢者の多い地域なのにバス等、移動手段が少なすぎると思います。
- ・バスはパルナの送迎バスに負けていると思います。電車は朝の通勤時間帯もなさすぎです。
- ・利用したことが無いので、よく分かりませんが、1日の便数が少ないと思う。もっ

と増やした方が思う。利用する人の話を聞いた方が良いと思う。買物を出来るところの近くにバス停があるといいと思う。荷物が重いと大変だし。

バス（その他）

- ・高齢者（子供）は運賃を割引きしてあげて下さい。
- ・年金以外の収入のない人は、半額にするべきだと思います。
- ・佐原と旭市の直通バスが無い。
- ・小見川方面のバスを出して欲しい。
- ・香取市高萩ではバスが通らないので困る。
- ・51号線のバスがあるとよい（玉造、アピタ間）
- ・香取止まりや、佐原止まりがあって小見川方面がないので不便である。
- ・小見川地区には旧町の時から運行なし。是非循環バスを運行してくれるようお願いします。現状の状態では不公平である。
- ・運行時間の見直し。JRに合わせる。
- ・運転手のサービスが欠けていると思う。
- ・民間バスの通ってる所でも市のバスを運行させてほしい。
- ・循環バスを利用したくてもバス停が遠くては利用できない。
- ・時間に対してルーズだったり、待っているのに通り過ぎることがあった。
- ・一方通行やせまい道を、高速バス等の大型バスを走らせるのは、危険ではないかと感じる時間帯がある。特に朝の通学時間帯。
- ・老人が利用しやすいようにして欲しい。家族が送迎できない時に利用してもらいたいので、病院や店の近くに停まるようにして欲しい。
- ・老人世帯なので、マイクロバスでも利用できたらとてもありがたいです。年金ではタクシー代を出すのがとても大変です。
- ・循環バスのルートや時間がわからないので、各戸1枚ずつ配布して欲しい（お年寄りにもわかりやすく）。
- ・循環バスの維持など経費がかかるようでも続けてほしい。無理なら、病院とかなの場合、タクシーの補助等考えてほしい。
- ・バスを小型にしては。
- ・停留所を増やし、多くの人利用する店（大型店にも）などへも行けるようにする。また、どの路線をどのくらいの本数出ているかの情報をわかりやすく公開する。
- ・経費節減。運行回数アップの目的で、10人乗り程度の小型バスに切り替える。停車位置を定めず、ルート内なら、手を上げればどこでも停まってくれる。主として病院、商業施設（スーパーマーケット等）、ターミナル駅を重点に行き先を設定する。

- ・利用者が多い地点は30分間隔でバスが来るような時刻表が出来ないのでしょうか。路線の重なる所は、1時間に1本ではなく2本あるというようにしてほしい。そうしないと老人はどこにもいけなくなります。
- ・小江戸バスが、お客さんが乗らず運行しているのが気になります。
- ・成田 佐原の旅行者向けのバスが、毎日、乗客もなく経費がかさんでいるときくが、ならば佐原の人はただでのれるようにしたら、利用する人もいるのではないか。
- ・高速バスの定期券の発行。
- ・高速バスは非常に便利で良い。有り難く感じている。神栖・鹿嶋方面への乗り入れバスが必要ではないか。
- ・現在あるバスのルートを少し変更したらより便利になると思います。
例：東京 栗源のルートを「助沢IC」と「岩部交差点」経由にして停留所を設ける。
例：成田空港 栗源役場のルートを、「岩部交差点」経由にして、停留所を設ける。
(現行ルートのまま、「助沢IC」に停留所を設けるだけでも便利)
- ・成田空港まで行けば電車などの便がよいので、空港までのアクセス数を増加してほしい。朝、夜も。
- ・循環バスがあるのを知らなかった。
- ・旭市、東庄町の運行は知っていますが、香取市はバス運行あるのですか。わかりません。

その他

- ・明確に公平に負担割が良いと思う。
- ・鉄道とバスの時刻にずれがあり、うまく乗り継ぎが出来ない。
- ・高齢社会となり、公共交通システムを必要とする人が増加することは間違いない。また、環境保全の面からも自家用自動車から公共交通システムへの重度を高める時代がすぐそこまで来ているのではないか。市民全員が公共交通システムへ関心を持てる啓蒙活動や試験運転をもっとすべきだと考える。
- ・最寄り駅まで25分、バス停まで車で5分では、1人1台の車が必要になる。利便性を問う以前の問題。
- ・循環バスは必要ない。
- ・便利が悪いから乗らない。
- ・そのままでもよい。

